

取り付けかた (図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です)

1 取付前に確認する。

- 取付ボルトは、器具質量(表1)に十分耐える補強のある天井面に設ける。また、本体背面の電源K.Oを抜き、付属のブッシュを取り付けておく。
取付位置は、背面取付穴(図1)を参照してください。
- 取付ボルトの出代は本体35mm以下にする。
取付ボルトが出すぎると反射板が取り付けられなくなります。
- 器具を連結する場合は、連結のしかた(図2)にしたがい連結金具を取り付けてください。

器具質量(表1)

器具形式	灯数	器具質量
PKE11108-JM24E	1	5.3 kg
PKE11208-JM24E	2	6.2 kg

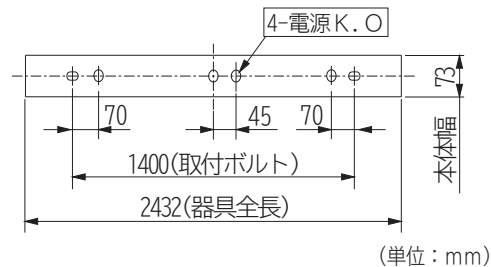
2 器具本体を取付ボルトで天井面に確実に取り付ける。

- 電源線・アース線を抜いた電源穴から引き込んでおく。

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する。(図3)

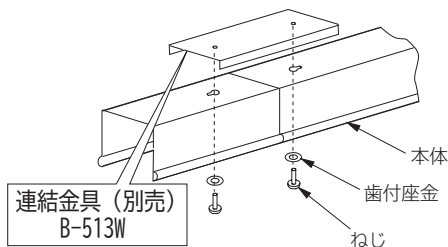
- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。
- 反射板で挟まないよう電線を処理する。
- アース工事はD種接地工事を行う。
- 電源線を解除する場合は、ドライバーで解除部を押してはずす。
アース線を解除する場合は、マイナスドライバーを解除用穴に挿入してはずす。

背面取付穴(図1)



連結のしかた(図2)

- 器具本体の端部に連結金具(別売)をねじ止めし、本体を連結する。
- 器具内で送り配線する場合は、エンドプレートのノック穴を抜き、送り電線を通す。



4 ソケットをエンドプレートに取り付ける。

5 ホルダーと反射板を確実に取り付ける。(図4)

- 1灯用の場合は、事前に固定ねじとナットでホルダーを取り付けておく。
- 2灯用の場合は、止ねじでホルダーと反射板を共締めする。

6 ソケットおよびホルダーにランプを確実に取り付ける。(図5)

- ランプには方向性があります。取り付けの向きにご注意ください。
- ランプの中央部を持ち、ソケットおよびランプホルダーに確実に取り付ける。

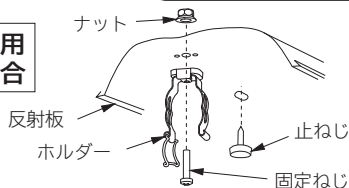


注意 取り付けに不備があると落下によるけがの原因となります。

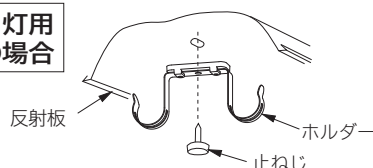
7 工事完了後にランプが正常に点灯するか確認する。

ホルダーの取り付けかた(図4)

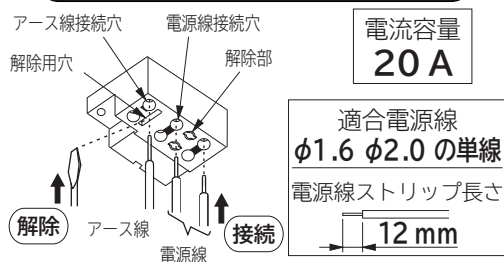
1灯用の場合



2灯用の場合



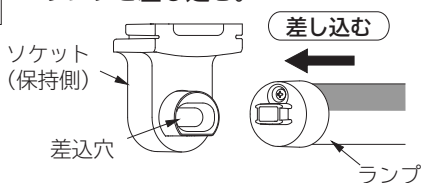
電源端子台の接続と解除(図3)



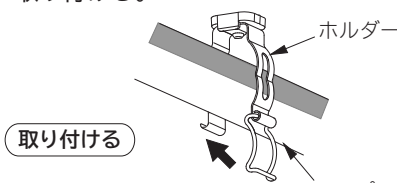
ランプの取り付けかた(図5)

例図は1灯用

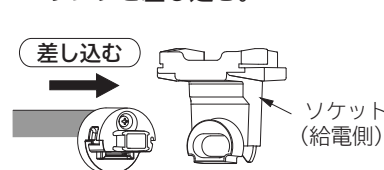
①保持側ソケットの差込穴にランプを差し込む。



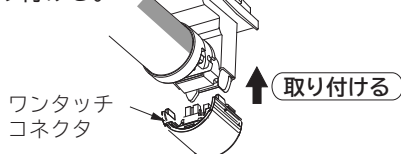
②ランプをホルダーに取り付ける。



③給電側ソケットの差込穴にランプを差し込む。



④ワンタッチコネクタを取り付ける。



⑤フックを引っ掛ける。

